

福岡県内の薬局における ジェネリック医薬品の使用実態調査

福岡県保健医療介護部薬務課

○調査方法

対象施設:(社)福岡県薬剤師会

会員調剤薬局(2,213施設)

※ただし、日本薬剤師会の調査対象施設を除く

調査方法:アンケートの配布及び回収を
(社)福岡県薬剤師会に依頼

調査期間:平成20年9月1日

~9月30日

○結果

1,555施設が回答

取扱い処方せん状況

		県調査【H20.9】			参考【日薬調査／H20.9】			
処方内容及びGE変更の有無		変更不可 サイン	割合 (①～⑦)		変更不可 サイン	割合 (①～⑦)		
			割合 (①～④)			割合 (①～④)		
			割合 (①～③)			割合 (①～④)		
①	1品目以上、GEに変更した (銘柄名で記載されたGEをほかのGEに変更したものを含む。)	「無」 68.0%	3.9%	5.7%	6.9%	「無」 59.8%	3.4% 【GE⇒GEは含まない】	5.7%
②	変更していないが、GE(銘柄指定)は調剤した		31.8%	46.8%	56.8%		—	
③	変更可能な品目があったが、 1品目もGEを調剤しなかった		20.4%	30.0%	36.3%		—	
④	変更可能な品目が1品目も無かった (全てGEの無い先発医薬品であった)		12.0%	17.6%			6.8%	11.4%
⑤	GEが銘柄指定されていた	「有」 32.0%	13.8%			「有」 35.0%	11.5%	
⑥	変更可能な品目があった(⑤の場合を除く。)		11.6%				—	
⑦	変更可能な品目が1品目も無かった (全てGEの無い先発医薬品であった)		6.6%				—	
有効回答施設数		893(*)			406			
処方せん枚数		1,063,214			553,268			

* ①～⑦の回答全てが有効であった施設について集計

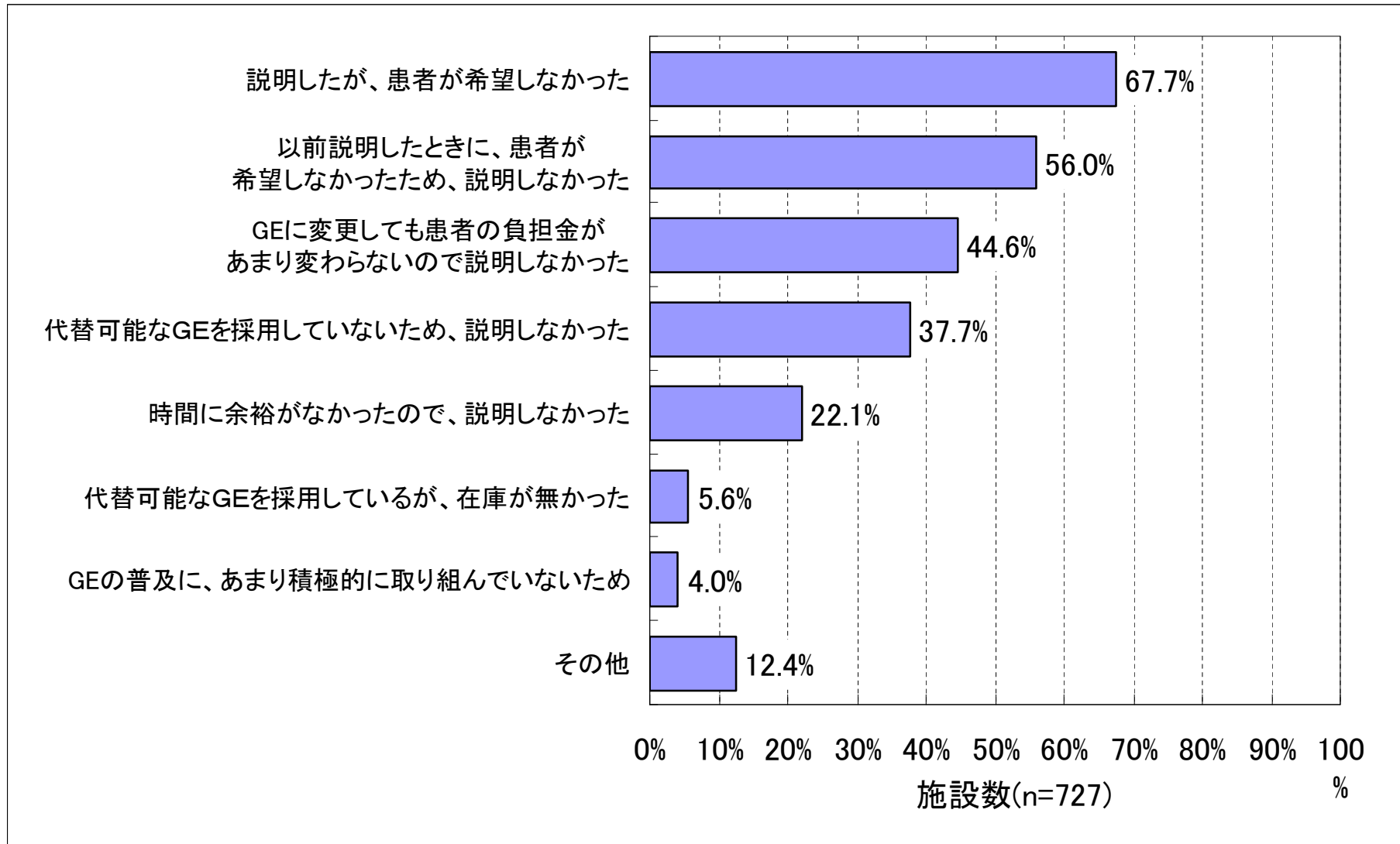
【参考】「後発医薬品への変更可」の処方せんの取扱い状況 (平成19年6月調査分)

	本県の調査 H19.6 (n=1492*)		(参考) 中医協 H18.10(n=635)
	総 数	1施設あたり	1施設あたり
① 取扱い処方せん枚数	1,882,768 枚	1,261.9 枚 (100.0%)	1,543.6 枚 (100.0%)
② 「後発品への変更可」欄に署名等のあった処方せん枚数	366,656 枚	245.7 枚 【100.0%】(19.5%)	269.0 枚 【100.0%】(17.1%)
③ 実際に後発医薬品に変更した処方せん枚数	17,866 枚	12.0 枚 【 4.9% 】(0.9%)	15.6 枚 【 5.7% 】(1.0%)

()は①に対する割合、【 】は②に対する割合を示す

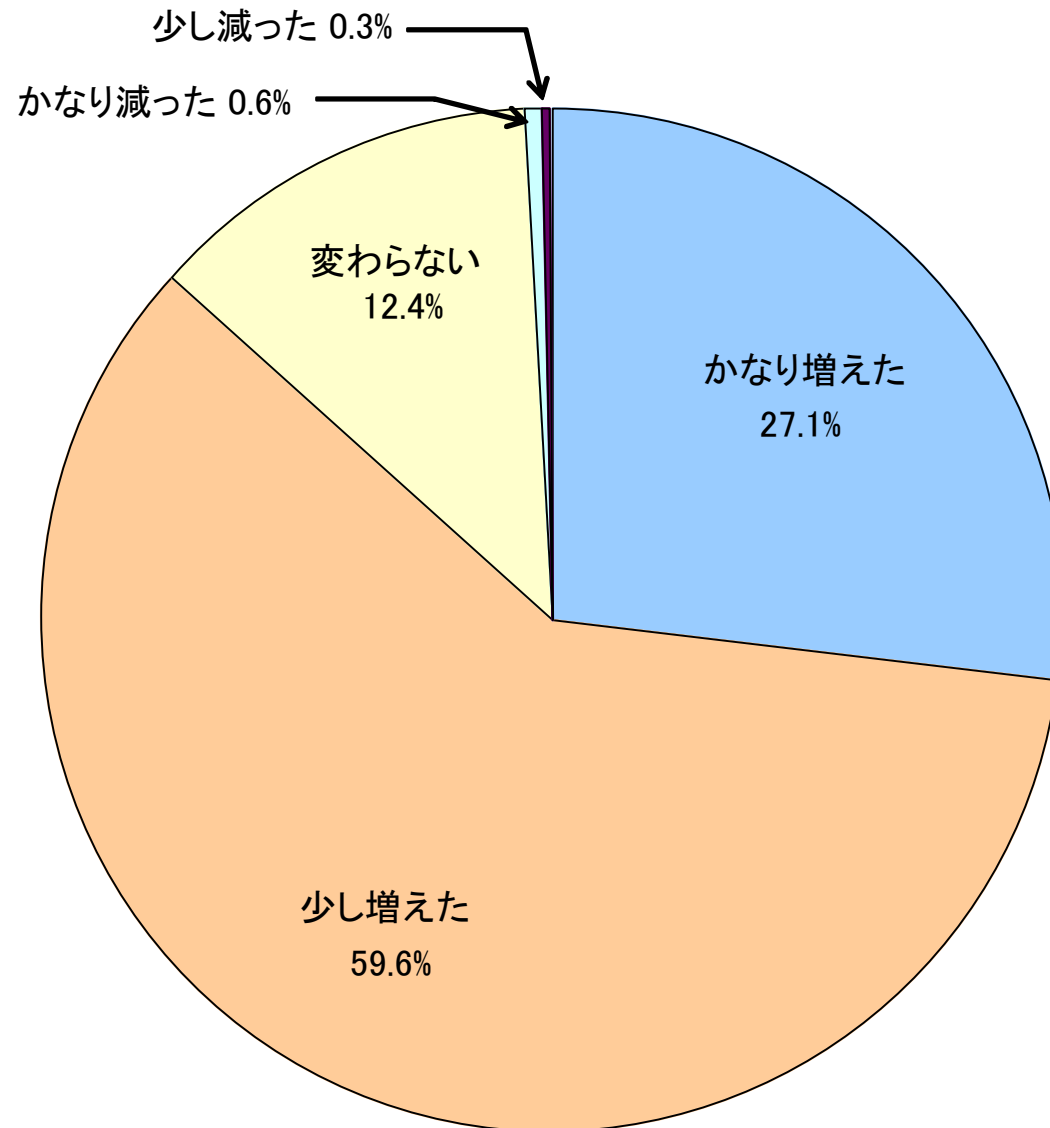
*) 回答施設(1,514)中、一部枚数が未記入であった22施設を除いた施設数

変更可能な品目があったが、1品目もGEを調剤しなかった理由



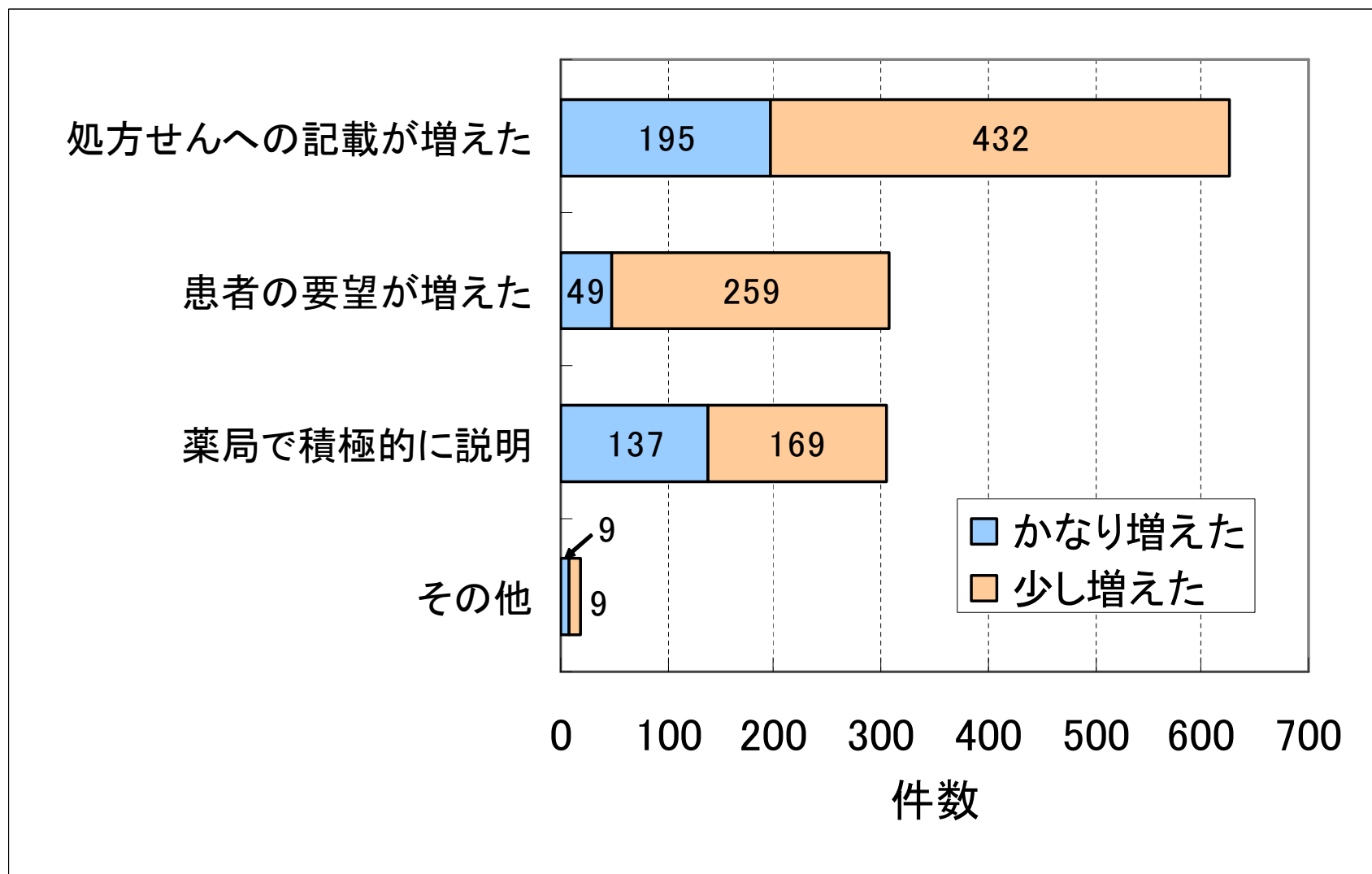
※回答が有効であった727施設について集計
※複数回答(1施設3つまで)

ジェネリック医薬品を調剤する割合（1年前との比較）



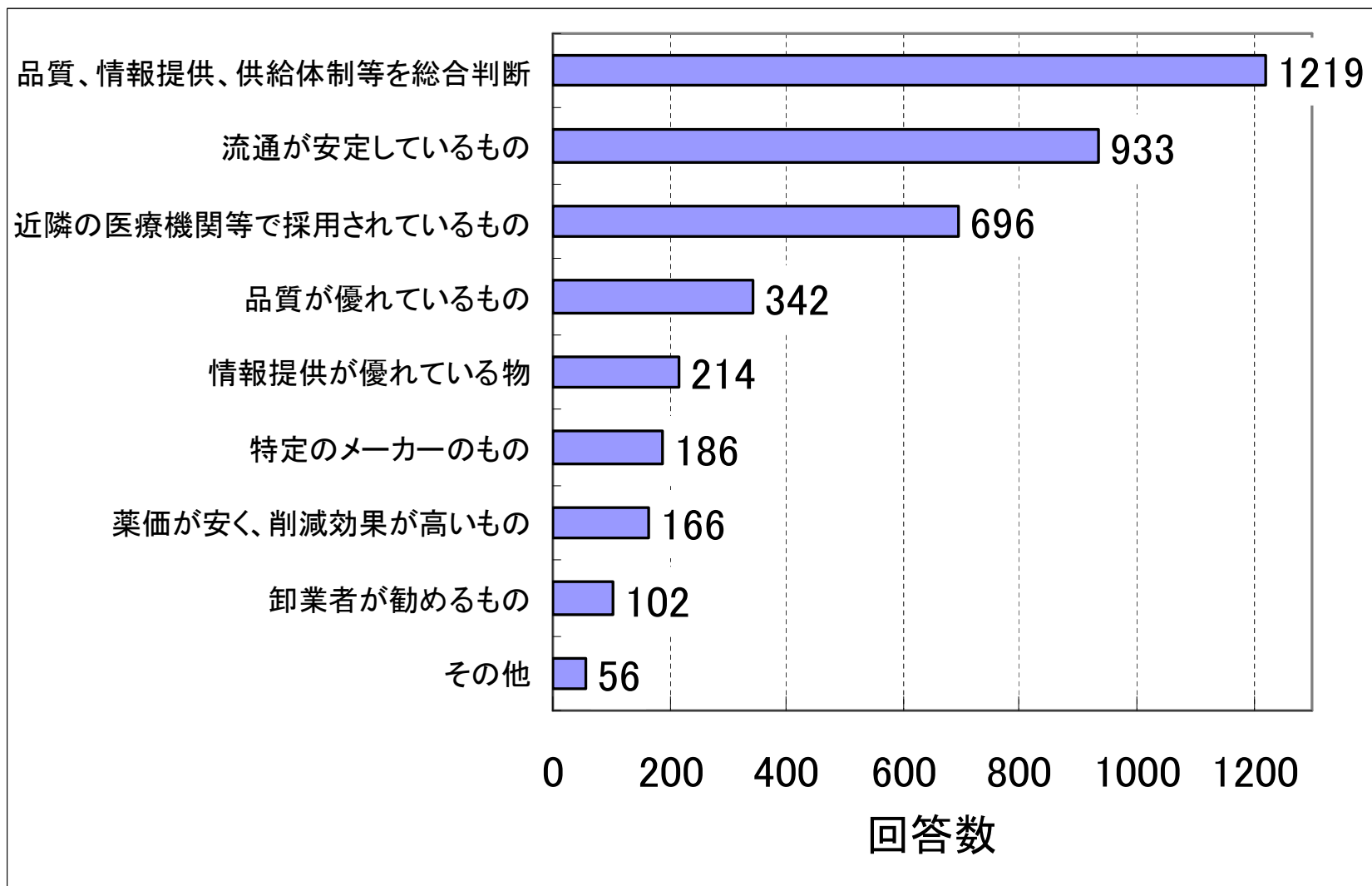
※回答が有効であった1,514施設について集計

ジェネリック医薬品の調剤率が増えた理由



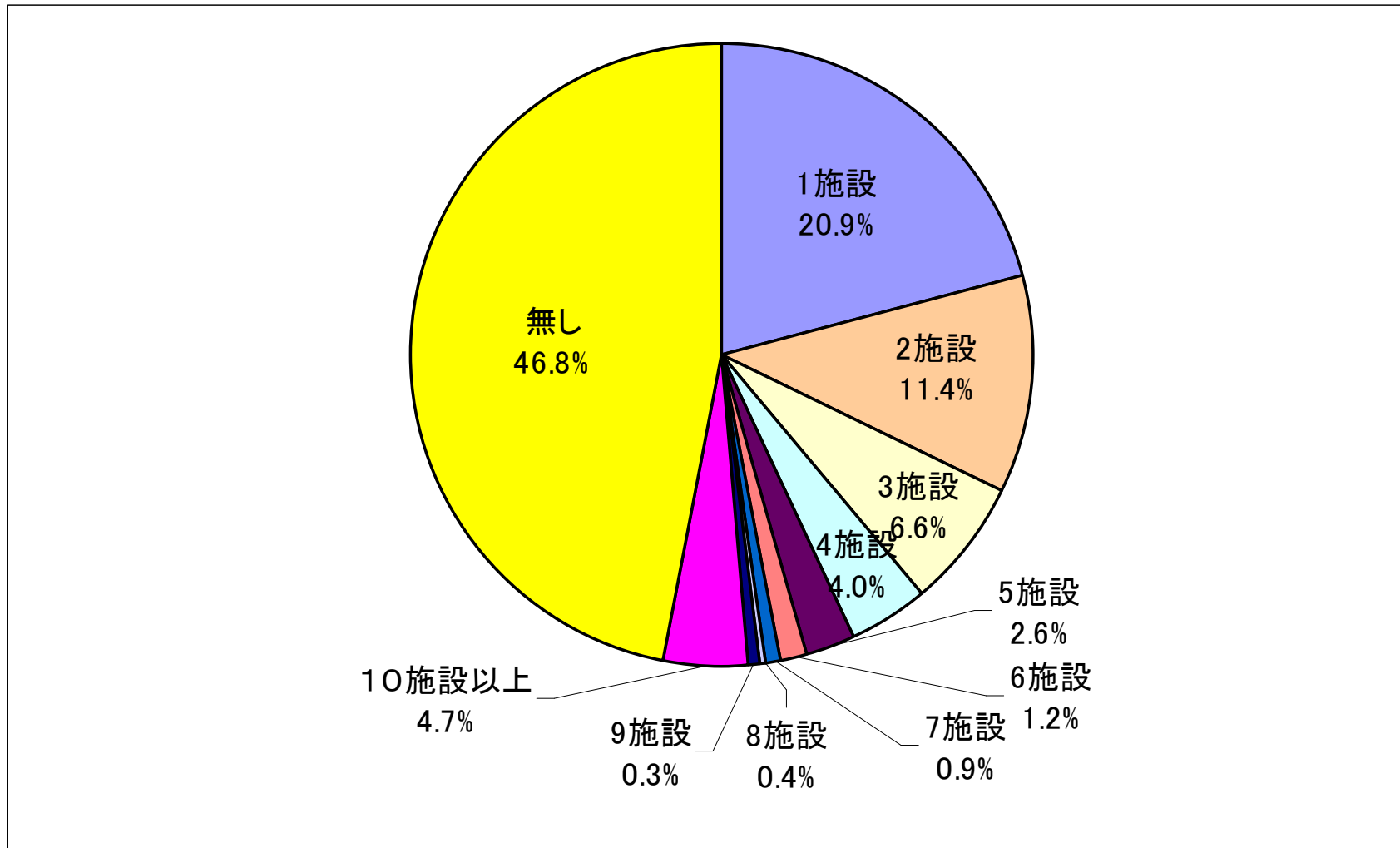
※回答が有効であった1,259施設について集計

ジェネリック医薬品の採用基準



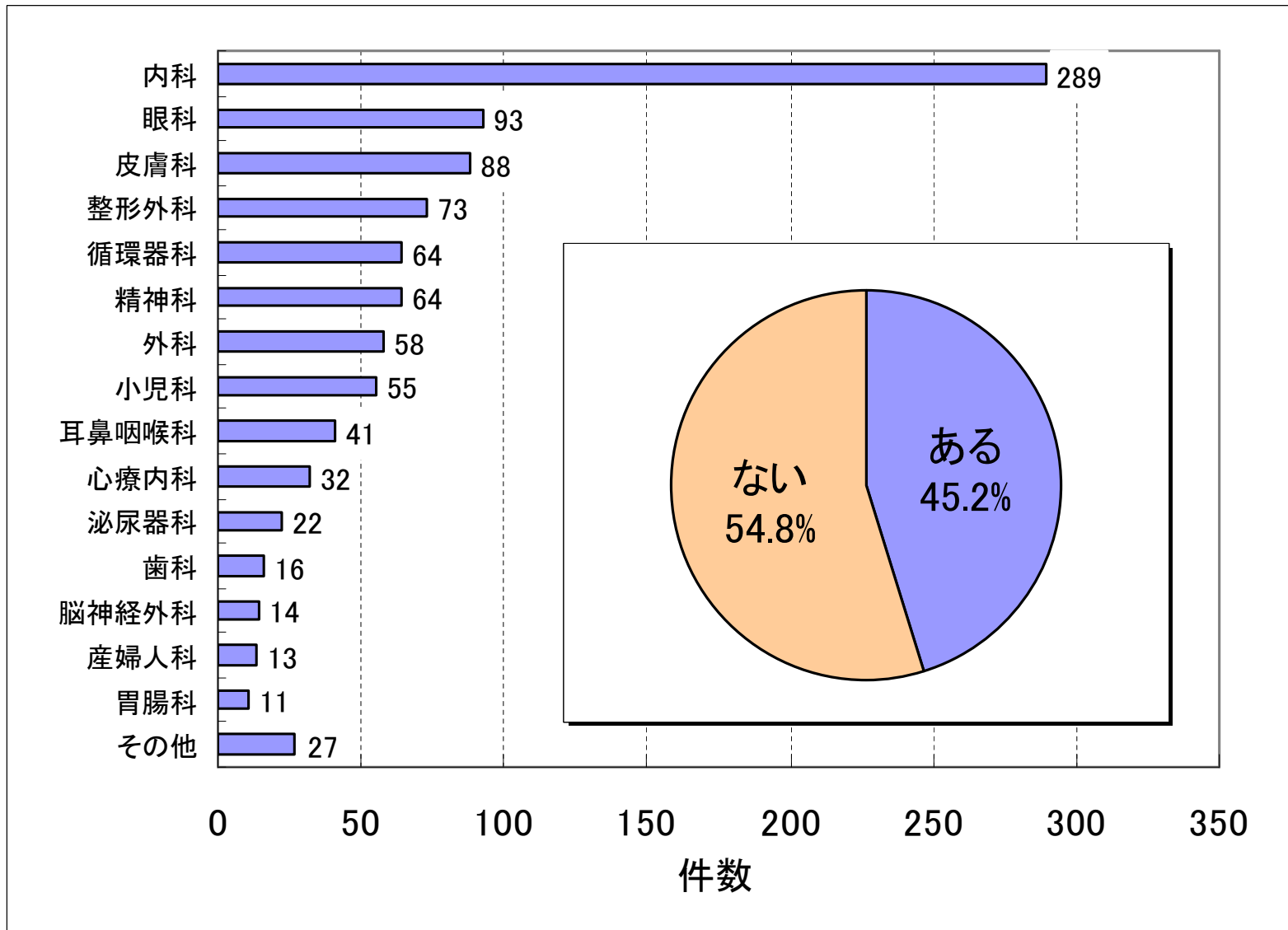
※回答が有効であった1,539施設について集計
※複数回答(1施設3つまで)

概ね8割以上の処方せんを「変更不可」とする医療機関について



※回答が有効であった1,522施設について集計

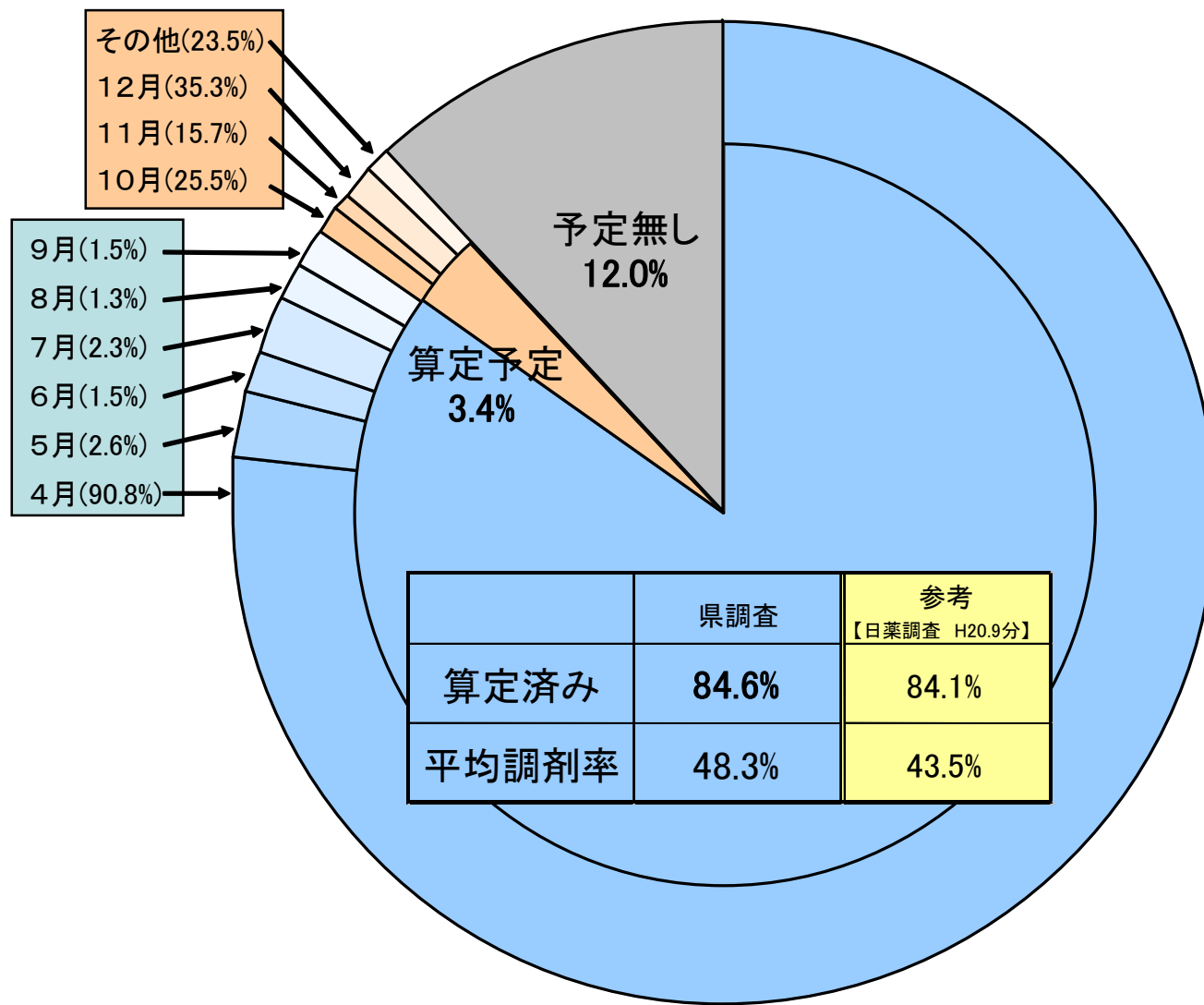
概ね8割以上の処方せんを「変更不可」とする診療科について



※回答が有効であった1,466施設について集計

※1施設2科まで回答

「後発医薬品調剤体制加算」について



※回答が有効であった1,487施設について集計

GEの「分割調剤」について(平成20年9月分)

	施設数	処方せん数	割合
あり	37	2,087	0.1%
無し	1,430	1,777,515	99.9%
計	1,467	1,779,602	

ジェネリック医薬品の在庫状況

	県調査		参考 【日薬調査 H20.9分】
	平均品目数	割合	平均品目数
医療用医薬品	522.0		—
後発医薬品	76.6	14.7%	123.2
施設数	1443		327